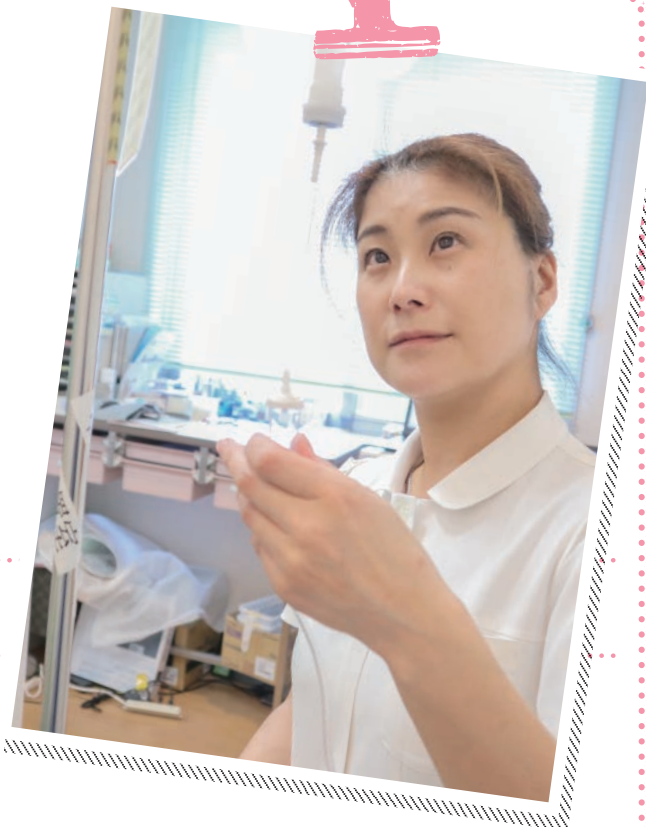


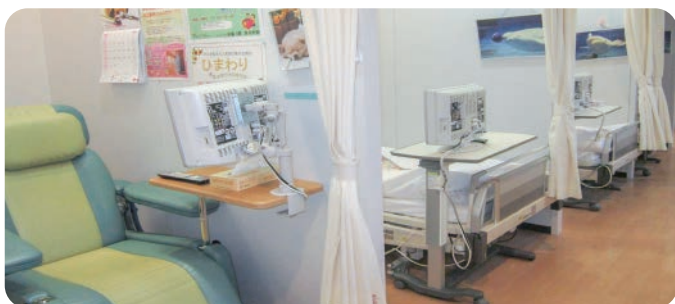
がん化学療法看護 認定看護師の活動： 「インフューザーポンプ」 について

がん化学療法看護認定看護師 渡邊 直美



私は、1階の中央処置室の中の外来化学療法室で勤務
をしています。【図1】

化学療法を受ける患者さん・ご家族が治療を安全に受
けることができ、日常生活が快適に過ごせるように食事
や副作用症状の対応について説明をしています。今回は
治療法の1つ「インフューザーポンプ」について説明し
ます。



【図1】 外来化学療法室

「インフューザーポンプ」について

「インフューザーポンプ」とは、分かりやすく言うと、
「抗がん剤お持ち帰りポンプ」です。外来化学療法室で点
滴の治療後、図2の写真のように抗がん剤を入れたボト
ルをつなぎ、専用の袋に入れて帰宅します。薬がなくな
るまで約43時間かかりますが、患者さんは通常の生活
を送ることができます。

ポンプは専用の袋に入れて首から下げたりポケットに
入れるなどしておきます。【下の図】



最初は重たいかもしれませんが、少しずつ抗がん剤が注
入されてボトルは小さくなり、軽くなっていきます。【図3】

《日常生活のポイント》

◆入浴について

ポンプを使用中であっても、ポンプをビニール袋に入
れてぬらさないようにすると、お風呂も可能ですが、
長時間の入浴は控えましょう。心配な方はシャワー浴
をおすすめします。ポンプ使用中は、前開きの服を着
用すると着替えやすいです。

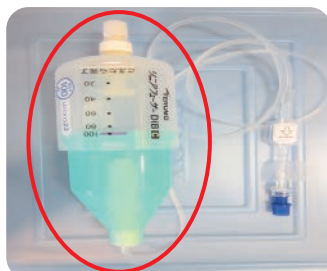
◆食事について

特に制限はありません。食欲がないときは無理せず、
食べられそうなものを食べてください。

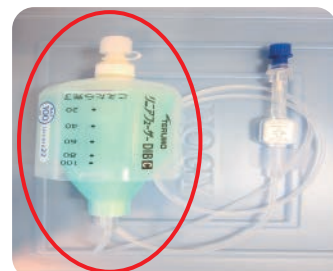
◆排泄について

下痢や便秘のときは、主治医へ相談して必要時お薬を
服用しましょう。

当院では医師や薬剤師と一緒に患者にあった治療法を提供
し、がんと共に生きる日常を支えています。ご不明な点がある
ときはいつでも認定看護師にご相談ください。



【図2】 抗がん剤が入った最初のボトル



【図3】 抗がん剤が注入されて小さくなったボトル